

令和5年度  
第2回一関市博物館協議会  
次 第

日時 令和6年2月7日（水）  
午後2時から午後4時まで  
会場 一関市博物館 研修室

1 開会のことば

2 挨拶

3 協議

- (1) 令和5年度事業の取り組み状況について
- (2) 令和6年度事業計画について
- (3) その他

4 その他

5 閉会のことば

## 令和5年度第2回一関市博物館協議会参加者名簿

■一関市博物館協議会 （任期 令和5年7月1日～令和7年6月30日）

[敬称略]

No.	氏名	読み方	組織区分	備考	出席
1	熊谷 常正	くまがい つねまさ			○
2	砂金 文昭	いさご ふみあき		○	
3	小笠原 浩	おがさわら ひろし		×	
4	佐藤 幸雄	さとう ゆきお		○	
5	石井 美樹子	いしい みきこ		○	
6	佐藤 泰彦	さとう やすひこ		○	
7	千葉 信胤	ちば のぶたね		○	
8	佐野 修弘	さの のぶひろ		○	
9	千葉 幸子	ちば さちこ		○	
10	菅原 真利子	すがわら まりこ		○	
11	佐藤 憲一	さとう のりかず		×	
12	平澤 広	ひらさわ ひろし		×	
13	齊藤 三郎	さいとう さぶろう		○	
14	佐藤 浩	さとう ひろし		○	
15	松岡 千賀子	まつおか ちかこ		×	

### ■一関市教育委員会・一関市博物館

No.	氏名	読み方	役職名	備考	出席
1	時枝 直樹	ときえだ なおき	教育長		○
2	菊池 勇夫	きくち いさお	博物館長		○
3	佐々木 修路	ささき しゅうじ	博物館次長		○
4	相馬 美貴子	そうま みきこ	博物館主幹		○
5	大衡 彩織	おおひら さおり	博物館副館長兼学芸係長		○
6	滝澤 清	たきざわ きよし	博物館庶務係長		○
7	高橋 紘	たかはし こう	博物館学芸員		○
8	鈴木 雄己	すずき ゆうき	博物館学芸員		○

令和5年度

# 事業の取り組み状況

## 目 次

### I 展示活動

- 1 常設展示 . . . . . 1
- 2 企画展 . . . . . 1
- 3 テーマ展 . . . . . 3
- 4 記念展示 . . . . . 5

### II 交流連携（教育普及）活動

- 1 講座 . . . . . 7
- 2 体験学習 . . . . . 10
- 3 その他の交流連携（教育普及）活動 . . . . . 12

### III 資料収集・保存・貸与・管理等 . . . . . 13

### IV 調査研究活動 . . . . . 15

### V 大槻家資料保存活用事業 . . . . . 16

### VI 広報活動 . . . . . 16

### VII その他 . . . . . 16

### VIII 講師派遣等状況 . . . . . 17

# 令和5年度事業の取り組み状況

## I 展示活動

### 1 常設展示

#### (1) 常設展示

##### 【目的】

地域の歴史と文化を多様な資料により系統的に展示し、広く生涯学習の推進・充実に寄与する。

##### 【内容】

「一関のあゆみ」「舞草刀と刀剣」「玄沢と蘭学」「文彦と言海」「一関と和算」の5テーマ及び昔の道具の展示。研究成果に基づき、随時展示替えを行う。

#### (2) 長沼守敬に関する展示

明治時代から大正時代にかけて活躍した一関出身の彫刻家 長沼守敬を顕彰するための展示。エントランスホールにパネルを展示（通年）。

#### (3) スマートフォン等のアプリケーションを利用した展示ガイド

## 2 企画展

### 企画展 「生誕100年 福井良之助展」

#### 【目的】

昭和50年代頃まで、学校や職場で広く使われていた謄写版印刷。「ガリ版」とも呼ばれるこの技法を独自に研究して、誰もまねのできない芸術作品を生み出した画家がいました。昭和19年(1944)から26年(1951)までを母の郷里である一関で暮らした福井良之助（大正12～昭和61年・1923～1986）です。

太平洋戦争終戦後に一関中学校の図画教師を勤めた福井は、そこで謄写版印刷が得意な同僚に出会い、色々と質問をしたといいます。中学校を退職し上京してから、謄写版印刷による「孔版画」作品の制作を本格化し、落ち着いた色合いの詩情豊かな作品は、国内外で高い評価を受けるようになりました。彼の孔版画は、東京国立近代美術館をはじめ多くの美術館に収蔵されています。

福井の生誕100年を記念して開催する本展では、一関時代に描いた貴重な油彩画と、世界的

に認められた孔版画を中心に、その後に手掛けた油彩画も交えて紹介する。

【開催期間】 [前期] 9月30日(土)～10月29日(日)

[後期] 11月1日(水)～11月26日(日)

\*前期・後期に分け展示替えを行う。

【開催日数】 49日間

【入館者数】 2,948人 (60.2人/日)

前期：1,346人 (51.8人/日) 後期：1,602人 (69.7人/日)

【関連行事】

(1) 講演会「福井良之助 一画家の中にある鎮魂とデカダンスー」

講 師： ██████████

日 時： 11月3日(金・文化の日) 15:00～16:10

参加者：57人

(2) 朗読と音楽の夕べ

朗 読： ██████████

演 奏：よまえまカルテット

日 時： 11月3日(金・文化の日) 16:20～17:20

参加者：60人

(3) スペシャルギャラリートーク

講 師： ██████████

日 時： 11月3日(金・文化の日) 17:30～18:10

参加者：27人

(4) 館長講座「ガリ版文化史」

日 時： 9月30日(土) 13:30～15:00

講 師：当館館長 菊池勇夫

参加者：18人

(5) ギャラリートーク

日 時： 9月30日(土) 15:00～15:40 17人、 10月8日(日) 13:30～14:10 7人、

11月4日(土) 13:30～14:10 5人、 18:00～18:40 5人

11月5日(日) 13:30～14:10 25人、 18:00～18:40 1人 計 60人

話 者：当館学芸員

(6) 夜間開館およびライトアップ

日 時： 11月1日(水) 16:30～19:00 10人、 11月2日(木) 16:30～19:00 5人、

11月3日(金) 16:30～19:00 11人、 11月4日(土) 16:30～19:00 14人、

11月5日(日) 16:30～19:00 7人

【その他】 芸術文化振興基金の助成を受けて開催した。



5月6日(土)	13:30~14:10	3人、	5月7日(日)	13:30~14:10	0人
5月20日(土)	15:05~15:45	17人、	5月21日(日)	15:05~15:45	14人
6月3日(土)	15:05~15:45	6人、	6月10日(土)	15:05~15:45	32人
6月17日(土)	15:05~15:45	10人			計 104人

## テーマ展2 重要文化財指定記念特別展「大槻三代 ファミリーヒストリー」

### 【目的】

令和5年6月27日に当館所蔵の大槻家関係資料4,048点が重要文化財に指定されたことを記念して開催。

大槻玄沢、磐溪、如電、文彦を輩出した大槻家には、著作物や書画、刀剣などの愛用の品やコレクション、写真など多種多様な資料が伝来しました。大槻家資料の成り立ち、その文化財としての価値を紹介。

【開催期間】 7月15日(土)～9月3日(日)

【開催日数】 44日間

【入館者数】 1,832人(41.6人/日)

### 【関連行事】

#### (1) 講演会

##### ① 「大槻家関係資料の重要文化財指定について」

日時：7月15日(土) 13:30～15:00

講師：[REDACTED]

参加者：40人

##### ② 「大槻磐溪の貼り交ぜ帳(スクラップブック)「塵積成山」の魅力」

日時：7月23日(日) 13:30～15:00

講師：[REDACTED]

参加者：25人

#### (2) 展示解説会

日時

7月15日(土) 15:10～15:50 32人、 7月23日(日) 15:10～15:50 10人

8月6日(日) 13:30～14:10 1人、 8月20日(日) 15:10～15:50 21人

9月2日(土) 13:30～14:10 9人、 計 73人

#### (3) はくぶつかんくいず

会期中、展示を見て解けるクイズを実施

参加者：130人

#### (4) 館長講座「『言海』を読む 一言葉の時代感覚」

日時：8月20日(日) 13:30～15:00



講 師：菊池勇夫（当館館長）

参加者：37人

(5) はくぶつかんこどもくらぶ「江戸時代のうっし絵をつくろう」

日 時：7月21日（金）、22日（土）

①10:00～10:30 ②11:00～11:30 ③13:30～14:00 ④14:30～15:00

参加者：21人

### テーマ展3「縄文時代のモノづくり」

#### 【目 的】

一関周辺から出土した土器や石器、動物の骨や角を加工して作られた骨角器などを中心に、縄文時代のモノづくりについて紹介する。

【開催期間】 令和6年1月13日（土）～3月17日（日）

#### 【関連行事】

(1) 講演会「縄文時代のモノづくり」

日時：2月25日（日） 13:30～15:00

講師：[REDACTED]

(2) 館長講座「出土遺物への関心—真澄と玄沢—」

日時：2月11日（日） 13:30～15:00

講師：菊池勇夫（当館館長）

(3) 展示解説会

日時

1月13日（土） 13:30～14:10 26名、1月14日（日） 13:30～14:10 4名

1月27日（土） 13:30～14:10、1月28日（日） 13:30～14:10

2月11日（日） 15:10～15:50、2月25日（日） 15:10～15:50

3月9日（土） 13:30～14:10

## 4 記念展示

### 生誕150周年記念展示「佐藤紫煙と過ごす1年」

#### 【目 的】

明治6年(1873)に一関で生まれた日本画家佐藤紫煙の生誕150年を記念して、1年を通じて彼の作品を紹介する。

#### 【展示場所】

「舞草刀と刀剣」展示室内

#### 【展示期間及び作品】

4月15日(土)～5月12日(金) 「孔雀長春図」「孔雀富貴」  
5月13日(土)～6月14日(水) 「花鳥図屏風」  
6月15日(木)～7月14日(金) 「寒山図」、「拾得図」  
7月15日(土)～8月12日(土) 「虎之図」、「竹図」、「花中君子」  
8月13日(日)～9月14日(木) 「黄蜀葵図」、「紫苑と朝顔」  
9月15日(金)～10月13日(金) 「葡萄之図」、「辛厨風味」  
10月14日(土)～11月9日(木) 「芦雁図」、「清流鶴鴿」  
11月10日(金)～1月4日(木) 「仏手柑石」、「四季平安」  
1月5日(金)～2月1日(木) 「雪中雀」、「波千鳥」  
2月2日(金)～2月29日(木) 「松竹梅鶴」  
3月1日(金)～3月28日(木) 「歳寒雅友図」、「早春之図」

## II 交流連携（教育普及）活動

### 1 講座

#### (1) 館長講座

##### 【目的】

当地域に関わる館長の研究の一端をわかりやすく紹介する。開催中の展覧会に合わせたテーマを設定し、展示への関心を高める講座。

##### 【内容等】

- ① 「嶽山と里山－神仏と人との領域－」  
日 時：5月20日（土） 13:30～15:00  
参加者：22人
- ② 「『言海』を読む－言葉の時代感覚－」  
日 時：8月20日（日） 13:30～15:00  
参加者：37人
- ③ 「ガリ版文化史－福井良之助展によせて－」  
日時：9月30日（土） 13:30～15:00  
参加者：18人
- ④ 「出土遺物への関心－真澄と玄沢」  
日時：2月11日（日） 13:30～15:00

【対象・定員】 各回一般50人

#### (2) 講座「骨寺大学」

##### 【目的】

平成20年度より一関市博物館で実施してきた骨寺村荘園遺跡村落調査研究事業の公開講座。国の史跡であり、重要文化的景観でもある骨寺村荘園遺跡について、文献史学や考古学、農学など多角的な視点から、骨寺村研究の最前線を解説する講座。

##### 【内容等】

- ① 「松脂運上のこと」  
日 時：5月21日（日） 13:30～15:00  
講 師：  
参加者：17人
- ② 「川と堤と堰－水をめぐって－」  
日 時：6月24日（土） 13:30～15:00

講 師：菊池勇夫（当館館長）

参加者：17人

③ 「骨寺村絵図作成のねらい-仏神絵図-

日 時：7月8日（土） 13:30～15:00

講 師：小岩弘明（当館骨寺村荘園遺跡専門員）

参加者：14人

④ 「法名を持つ骨寺村の住人たち」

日 時：9月9日（土） 13:30～15:00

講 師：[REDACTED]

参加者：16人

⑤ 「本寺佐藤家文書にみる明治時代本寺の生活」

日 時：10月14日（土） 13:30～15:00

講 師：[REDACTED]

参加者：11人

⑥ 「本寺の水利と地名」

日 時：11月18日（土） 13:30～15:00

講 師：[REDACTED]

参加者：17人

【対象・定員】 各回一般50人

【参加延人数】 92人

(3) 和算講座（入門編）

【目 的】

和算の基本や歴史についてわかりやすく解説する講座。

【講座内容】

① 「伊達政宗と和算」

日 時：7月29日（土） 13:30～15:00

講 師：当館学芸員

参加者：13人

② 「棟梁の和算-曲尺の秘密-

日 時：8月5日（土） 13:30～15:00

講 師：[REDACTED]

参加者：18人

③ 「和算書と算額の読み方-和算用語を中心に-

日 時：8月19日(土) 13:30～15:00

講 師：[REDACTED]

参加者：14人

【対象・定員】 一般24人

【参加延人数】 45人

#### (4) 和算講座（研究編）

【目 的】

一関出身の和算家千葉胤秀が編集した『算法新書』を通して和算を学ぶ連続講座。

【内 容 等】

日時：5月13日、6月10日、7月8日、8月19日、9月16日、10月14日、11月11日  
(いずれも土曜日) 10:30～12:00

講師：岩手県和算研究会

【対象・定員】 一般24人

【参加延人数】 73人

#### (5) 古文書初心者講座

【目 的】

はじめて古文書を学ぶ人を対象に江戸時代の古文書を教材としてくずし字や古文書の基礎知識を学ぶ連続講座。

【内 容 等】

日時：5月14日・5月28日・6月11日 (いずれも日曜日) 13:30～15:00

講師：当館学芸員

【対象・定員】 一般24人

【参加延人数】 54人

#### (6) 古文書講座—浅野内匠頭身柄預り一件

【目 的】

当館所蔵の一関藩主田村家の古文書から、元禄14年に江戸城松の廊下刃傷事件を起こした浅野内匠頭の身柄を預かり切腹させるまでの一関藩の動きを読み取る連続講座。

【内 容 等】

日時：9月17日・10月1日・10月15日・10月29日 (いずれも日曜日)

午前の部10:00～11:30、午後の部13:30～15:00

講師：当館学芸員

【対象・定員】 一般24人

【参加延人数】 72人

(7) 講座「武士のはじまりの物語～『陸奥話記』をよみなおす～」

【目 的】

平安時代後期、源頼義が陸奥国北部に勢力を誇った安倍氏を討った前九年合戦。この合戦を記した『陸奥話記』を読み解き、武士の誕生した時代を紹介する連続講座。

【内 容 等】

日時：5月27日(土)・6月25日(日)・7月22日(土)・8月6日(日)・9月10日(日)

午前の部10:00～11:30、午後の部13:30～15:00

講師：当館学芸員

【対象・定員】 一般24人

【参加延人数】 94人

(8) 講座 吾妻鏡から奥州合戦を読む

【目 的】

吾妻鏡から奥州合戦の様相を探り磐井の歴史の一端にせまる連続講座。

【内 容 等】

日時：9月24日・10月22日・11月5日・11月19日（いずれも日曜日）

午前の部10:00～11:30、午後の部13:30～15:00

講師：当館学芸員

【対象・定員】 一般24人

【参加延人数】 107人

## 2 体験学習

(1) はくぶつかんこどもくらぶ

【目 的】

気軽に楽しめる体験やパズル、簡単な工作を通して、歴史や当館の展示に親しむ。

【内 容 等】

① こどもくらぶスペシャル

日時：4月29日(土)・4月30日(日)、10:00～15:00 随時受付

参加延人数：67人

② 江戸時代のうつつ絵をつくろう

日 時：7月21日(金)・7月22日(土)

10:00～10:30、11:00～11:30、13:30～14:00、14:30～15:00の4回実施

参加者：21人

③ オリジナルエコバッグをつくろう

日 時：1月14日(日)

10:00～10:30、11:00～11:30、13:30～14:00、14:30～15:00の4回実施

参加者：36人

【対象・定員】 各回10人程度

【参加延人数】 124人

(2) 博物館でアートを楽しむ～点描で小粋なカードを作りましょう～

【目 的】

博物館に親しんでいただくために、美術体験を楽しんでもらう。市内美術団体との交流を図り、協力関係を築く。

【内 容 等】

日時：10月9日(月・祝) 9:00～12:00、13:00～16:00の2回実施

講師：いわい美術振興協会会員、当館学芸員

【対象・定員】 小学4年以上・各回15人

【参加者数】 26人(午前15人、午後11人)

(3) 第22回 和算に挑戦

【目 的】

和算の問題を解くことで和算について理解を深めてもらう。

【内 容 等】

算額や和算書の中から初級、中級、上級の3段階で問題を提示し、解法を募る。

実際に問題を解くことにより、和算のレベルを体感するとともに、難問に挑戦した和算家の心情を追体験してもらう。岩手県和算研究会と共催。

日時：12月1日(金)から1月20日(土)まで解答を募集。

表彰式：3月10日(日) 13:30～15:00

【対象・定員】 特に限定しない

【参加者数】 742人

### 3 その他の交流連携（教育普及）活動

#### (1) 古文書整理ボランティア

一関古文書に親しむ会有志に古文書整理作業を行っていただく。（毎週水曜日）

#### (2) えきえき連携事業

博物館を「学びの駅」とし、隣接する「道の駅」巖美溪との相互利用を促進する仕組みを構築し、社会教育と地域産業の活性化の相乗効果をつくり出す。

##### ① 夏のえきえき連携促進事業

道の駅巖美溪と連携し、餅つき大会、はくぶつかんクイズ・パズルに挑戦を実施した。参加者にポストカードを配布。

日 時：8月1日（火） 14:00～15:05

会 場：道の駅巖美溪、一関市博物館

対 象：巖美小学校児童クラブ

参加者：児童生徒25人 引率8人

##### ② 秋のえきえき連携促進事業

道の駅「秋の大収穫感謝祭」会場に、博物館ブースを開設し、「建部清庵が紹介した飢餓を救う植物」を配布。顕彰会が清庵にちなんだ食品の販売や摘み草料理の試食を行った。

日 時：11月5日（日） 9:00～12:00

会 場：道の駅巖美溪イベント広場

協 力：清庵の里

参 考：博物館入館者203人、道の駅巖美溪レジ利用者1,319人

##### ③ 先進地視察研修

他の同種施設の集客の手法、事業の取り組みを参考とし、今後の集客の増加を図り、社会教育と地域産業の活性化の相乗効果を高める。

日 時：3月15日（火） 8:30～16:30

視察先：道の駅高田松原、東日本大震災津波伝承館、陸前高田市立博物館

対 象：農業組合法人美の郷会員

#### (3) ことばの先人授業、講師派遣等

市教育委員会で実施している「ことばの先人」授業を小学校5校で実施したほか、他機関の希望により講演等を行った。（詳細は「講師派遣等状況」）。

#### (4) 博物館実習

学芸員資格取得に係り大学からの依頼を受けて、博物館実習生の受け入れを行う。



6月7日(水)～14日(水)(12日(月)を除く7日間) 実習生1名を受け入れた。

#### (5) ひかりの森のナイトミュージアム

巖美「ひかりの森」事業と連携し、企画展を開催している一関市博物館を夜間開館、ライトアップし、相乗効果による集客とにぎわいの創出、地域と施設の一体感の醸成を目的として実施。

##### ① イルミネーション、博物館ライトアップ

地域の児童生徒等が制作したイルミネーションで装飾

日 時：11月1日(水)から1月26日(金)まで 日没から21:00まで

会 場：一関市博物館及び周辺

##### ② 夜間開館

期間中は「東北文化の日ウィーク」で入館無料とし、フォトスポットを設置。

日 時：11月1日(水)～11月5日(日) 19:00まで開館

参加延人数：47人(16:30～19:00の入館者)

##### ③ のぞいてみよう!!学芸員の仕事

日 時：11月1日(水)、2日(木)、4日(土)、5日(日) 17:30～18:30

講 師：当館学芸員

参加者：7人

内容等：11月1日(水)、4日(土)「拓本一凸凹を写しとる」

11月2日(木)、5日(日)「こけしの調査－400本の名簿づくり」

### Ⅲ 資料収集・保存・貸与・管理等

#### (1) 資料の受け入れ(寄贈・寄託)

##### ① 寄贈(以下寄贈者別に資料名と点数を記載)

室根山神社由緒明細記 1点

大槻磐溪書扇面額 1点

御届煙火興行ほか 51点

福井良之助作品 3点

舞草村風土記ほか 18点

秀衡碗ほか 23点

福井良之助油彩画ほか 6点

仕入帳 1点

新刻日本輿地会図ほか 10点

福井良之助素描 9点

合計 123点

## (2) 資料の修復

### ① 刀剣等の修復

刀 銘 一関土源宗明作応藩士文之助森君需/文久二年八月日(和歌彫刻あり) 1口

刀 銘 一関土宗明/応豊嶋尚孝需 1口

### ② 絵画等の修復

洋画 福井良之助 油彩画 1点

日本画 佐藤紫煙および滝和亭 下図 6点

### ③ 古文書等の修復

田村家文書『御家御年代記』3冊の修復、及び収納用の帙(2個)を作成

## (3) 他館の展示への資料の貸出

村田町歴史みらい館「牙を剥けー東北の狼信仰ー」 22点(うち寄託資料20点)

八戸市博物館「業良キ物ー日本刀の歴史と八戸の刀工ー」 4点

芦東山記念館「いわい植物物語」 23点

## (4) 環境調査

第1回 令和5年8月5日～8月30日

第2回 令和6年2月中に実施予定

## (5) 施設燻蒸

令和5年12月9日～12月16日 第1・2収蔵庫及び前室で実施

## (6) 収蔵品管理システムの運用

## IV 調査研究活動

### (1) テーマ

調査研究テーマ	個別研究名称
地域の歴史研究	(1) 古代・中世の東北地方に関する研究 (2) 中世から近世にかけての葛西氏の動向 (3) 石造物の研究 (4) 藩制の研究
舞草刀・奥州刀の研究	舞草刀・奥州刀の基礎的研究
大槻玄沢と蘭学の研究	在村蘭学者の資料研究
大槻文彦と言海の研究	幕末明治期における大槻家
一関と和算の研究	一関地方の和算関係資料の調査
地域の美術工芸の研究	一関ゆかりの作家たち
博物館研究	博物館における展示及び教育普及活動等の研究

### (2) 一関市博物館研究報告（研究紀要）の発行

第27号の発刊 A4判

### (3) 骨寺村荘園遺跡村落調査研究

骨寺村荘園遺跡を核とした伝統的な村落の姿を多角的な視点から調査研究し、成果を蓄積する。

12月7日(木)研究会実施。3月末に報告書作成予定

### (4) 古文書等資料調査

古文書未整理資料の整理、目録のデータベース化。

美術資料の写真撮影、整理、調査カードの作成、データベース化、作家及びその周辺の文献調査等。

## V 大槻家資料保存活用事業

令和5年6月27日付で重要文化財に指定された大槻家関係資料について、修復、研究、公開を計画的に実施するもの。

令和5年度は、修復計画の作成と講演会の開催を計画

重要文化財指定記念特別展「大槻三代 ファミリーヒストリー」の関連行事として、講演会2回を開催(内容は3. テーマ展に記載)

## VI 広報活動

- ・ 年間行事予定表の配布(年度当初)
- ・ 市広報「博物館だより」コーナーによる情報の発信
- ・ 一関市博物館ホームページの随時更新による最新情報の提供
- ・ 一関市ホームページ「イベントカレンダー」による情報の提供
- ・ 新聞、FMあすも、一関テレビへの広報協力依頼
- ・ 市公式フェイスブックによる情報発信
- ・ 各種情報誌への掲載
- ・ 一関図書館において展覧会のPR動画を上映

## VII その他

- ・ 壁面展示ケースのガラス扉の修繕(一関のあゆみ)
- ・ 壁面展示ケース内照明のLED化工事(玄沢と蘭学、文彦と言海、一関と和算、舞草刀と刀剣の一部)
- ・ 空調設備改修工事(冷房用溶液熱交換器)

## Ⅶ 講師派遣等状況

(令和6年1月25日現在)

### (1) 来館対応

#### ① 展示解説等（学校関係）

No.	月	日	学 校 名	人数
1	6	2	赤荻小学校 6年生	56
2	6	7	一関小学校 3年生	124
3	6	23	興田小学校 3年生	10
4	7	7	大東中学校 3年生	4
5	8	29	山目小学校 6年生	97
6	11	8	中里小学校 6年生	22
7	11	14	舞川小学校 6年生	21
8	11	17	南小学校 3年生	53
合計				387

#### ② 展示解説等（各種団体）

No.	月	日	事 業 名	人数
1	4	5	一関市新採用職員研修	29
2	4	5	骨寺荘園室新任職員研修	2
3	4	14	岩手県都市監査委員会視察研修	36
4	5	11	一関市教育委員会初任者研修	21
5	5	12	祥雲寺	5
6	5	18	巖美人生大学（巖美市民センター）	18
7	6	4	宮城県大和町難波長寿会	23
8	6	4	岩出山古文書を読む会	35
9	6	9	萩荘長寿大学（萩荘市民センター）	31
10	6	13	舞川15区さわやか会	12
11	6	15	歴史教室 弥栄市民センター	5
12	6	16	摺沢振興会	11

No.	月	日	事業名	人数
13	6	18	真柴市民センター（一関中学校1～3年生）	38
14	7	4	アートで明るく生きる川崎	19
15	7	20	新風景浄土と童話の世界	19
16	7	27	巖美人生大学（巖美市民センター）	13
17	7	28	一関地方校長会 中学校部会	12
18	8	3	一関地方教育推進協議会 理科部会	25
19	8	4	巖美3区元気いきいき教室	9
20	8	30	地域づくり研修（小梨市民センター）	16
21	9	12	菊水学級 黒沢尻東地区自治協議会	22
22	9	22	盛岡の歴史を語る会	68
23	9	23	巖美小学校3年生PTA	32
24	10	3	花巻市宮野目ふるさと会	20
25	10	11	一関市民センター	23
26	10	13	萩荘長寿大学（萩荘市民センター）	29
27	10	19	巖美人生大学（巖美市民センター）	11
28	11	8	奥州市 佐倉河地区センター	10
29	1	20	鎌倉市文化財課等	4
30	1	25	巖美人生大学（巖美市民センター）	12
合計				610

## (2) 来館対応

### ① ことばの先人講師（出前授業）

No.	月	日	対象	内容	人数
1	10	20	中里小学校	大槻文彦	21
2	11	22	南小学校 6年生	大槻玄沢・大槻文彦	58
3	1	19	赤荻小学校 6年生	大槻文彦	53

No.	月	日	対象	内容	人数
4	1	23	興田小学校 5・6年生	大槻文彦	15
5	1	24	萩荘小学校 6年生	大槻玄沢	59
合 計					206

② 講師派遣（各種団体）

No.	月	日	事 業 名	人数
1	4	13	岩手県監査委員会研修会（大槻三賢人について）	49
2	7	29	老松市民センター（和算家千葉胤秀の生涯と功績について）	25
3	8	31	花泉高校（地域課題学習 千葉理安－生涯と業績）	5
4	10	28	真柴市民センター（奥州街道・鬼死骸ウォーキングツアー）	25
5	11	11	陸中岳風会講演会（大槻磐溪について）	150
合 計				254

(3) 参考：学校等自由見学

No.	月	日	事 業 名 等	人数
1	7	13	岩手県立前沢明峰支援学校 中学部	17
2	10	22	岩ヶ崎高校	16
合 計				33

(4) 参考：講座・体験学習・その他の交流連携事業の合計

講座	体験学習	その他	合計
614	134	1,704	2,452



令和 6 年度

事業計画

一関市博物館

---

## 目 次

1	特別展・企画展等	1
2	講座	2
3	体験学習	3
4	その他の交流連携活動	4
5	資料収集・保存・貸与	4
6	調査研究	5
7	大槻家資料保存活用事業	6
8	広報	6
9	その他	6

---

# 令和6年度事業計画（記載内容はいずれも予定）

## 1 特別展・企画展等

### (1) 特別展 「江戸屋敷—一関藩と仙台藩—」（仮題）

#### ○趣 旨

各大名が幕府から江戸に拝領した大名屋敷は、各藩の江戸での活動の拠点になるものであり、領民にとっては江戸観光の地でもありました。仙台藩の上屋敷跡は、大規模な発掘によりその構造が明らかになり汐留遺跡として注目されています。また、その近く愛宕下にあった一関藩の上屋敷跡からも注目される遺物や遺構が発見されています。

発掘の成果や、歴史資料を通して、一関藩・仙台藩の江戸屋敷の構造や機能、暮らしや事件、藩主の大名としての側面を紹介します。

#### ○会 期

令和6年9月14日（土）～11月24日（日）

#### ○展示構成案

- I 江戸の大名屋敷
- II 幕府と大名
- III 仙台藩上屋敷 汐留遺跡
- IV 発掘成果からみる一関藩上屋敷
- V 江戸屋敷の事件簿

#### ○関連行事

- ・講演会
- ・展示解説会
- ・その他

### (2) 企画展等（各展覧会とも仮題、会期は予定）

- ① 「菅原清蔵の民芸コレクションに見る植物意匠（ボタニカルデザイン）」  
4月27日～6月9日
  - ② 「どうぶつ—狩る・祈る・調べる・愛でる—」 7月6日～8月18日
  - ③ 「水災と火災—災害の歴史をふりかえる—」 1月25日～3月16日
- いずれも、講演会や展示解説会などの関連行事を予定。

(3) 長沼守敬に関する展示

明治時代から大正時代にかけて活躍した一関出身の彫刻家 長沼守敬を顕彰するための展示。エントランスホールにパネルを展示（通年）。

## 2 講座

(1) 館長講座

日時：年間3回程度 土日祝日 午後1時30分～3時

定員：50人

(2) 古文書初心者講座（連続講座）

当館所蔵の古文書を題材として、江戸時代の古文書についての初歩を学ぶ。

日時：年間4回程度

定員：24人

(3) 古文書講座（連続講座）

当館所蔵の古文書を題材として、江戸時代の古文書の解読の仕方や、そこからわかる歴史について学び、身近な史料や歴史について、関心を高める。

日時：年間4回程度

定員：24人

(4) 和算講座 入門編

江戸時代に発達した日本独自の数学「和算」について、その歴史や特徴、初歩的な知識を解説。岩手県和算研究会と共催。

日時：年間3回程度

定員：各回24人

講師：岩手県和算研究会会員

(5) 和算講座 研究編（連続講座）

一関の和算家千葉胤秀が編集した『算法新書』の解読を通して和算を学ぶ。平成29年度から継続。岩手県和算研究会と共催。

日時：4月～12月 各月1回

定員：24人

講師：岩手県和算研究会会員

(6) 講座「後三年合戦絵詞を読む」(連続講座)

当館所蔵の『後三年合戦絵詞』から後三年合戦の様相を探る。

日時：年間4回程度

定員：24人

(7) 講座「坂上田村麻呂の伝記を読み解く-『田邑伝記』の世界-」(連続講座)

平安時代(10～11世紀)に成立したとされる、坂上田村麻呂の伝記『田邑伝記』を読み解く講座。奈良から平安時代初期に発生した東北蝦夷戦争において、征夷大將軍として活躍した田村麻呂の生涯を、『六国史』などの関係資料も合わせて解説し、田村麻呂に関する伝説、特に岩手県南部～宮城県北部の事例についても、合わせて紹介する。

日時：年間3回程度

定員：24人

### 3 体験学習

(1) はくぶつかんこどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。

内容を変えて3回程度

日時：小学校の休業日

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

講師：当館学芸員ほか

(2) 博物館でアートを楽しむ

美術を楽しむ活動を行う。いわい美術振興協会との共催。

日時：土曜または日曜日

対象：小学3年生以上

講師：いわい美術振興協会、当館学芸員

(3) 第23回 和算に挑戦

算額や和算書の中から初級、中級、上級の3段階で問題を提示し、解法を募る。

実際に問題を解くことにより、和算のレベルを体感するとともに、難問に挑戦した和算家の心情を追体験してもらう。

令和6年度は23回目となる。当館特有の事業として全国的にも注目されている。岩手県和算研究会と共催。

期間：12月1日から1月20日まで解答募集

表彰式を3月上旬に開催

対象：特に限定しない

#### 4 その他の交流連携活動

(1) 古文書整理ボランティア

(2) えきえき連携事業

博物館を「学びの駅」とし、隣接する「道の駅」巖美溪との相互利用を促進する仕組みを構築し、社会教育と地域産業の活性化の相乗効果をつくり出す。

(3) ことばの先人授業

#### 5 資料収集・保存・貸与

(1) 資料の受け入れ(寄贈・寄託)

(2) 資料の修復

- ・刀剣等の修復
- ・絵画等の修復
- ・古文書等の修復

(3) 他館の展示への資料の貸出

(4) 環境調査

(5) 施設燻蒸

## 6 調査研究

### (1) テーマ

調査研究テーマ	個別研究名称
地域の歴史研究	(1) 古代・中世の東北地方に関する研究 (2) 中世から近世にかけての葛西氏の動向 (3) 石造物の研究 (4) 藩制の研究
舞草刀・奥州刀の研究	舞草刀・奥州刀の基礎的研究
大槻玄沢と蘭学の研究	在村蘭学者の資料研究
大槻文彦と言海の研究	幕末明治期における大槻家
一関と和算の研究	一関地方の和算関係資料の調査
地域の美術工芸の研究	一関ゆかりの作家たち
博物館研究	博物館における展示及び教育普及活動等の研究

### (2) 一関市博物館研究報告（研究紀要）の発行

第28号の発刊 A4判

### (3) 骨寺村荘園遺跡村落調査研究

骨寺村荘園遺跡を核とした伝統的な村落の姿を多角的な視点から調査研究し、成果を蓄積する。

#### ①（仮称）骨寺村荘園遺跡村落調査研究報告会

日時：12月～3月の間、全1回

報告者：村落調査研究事業調査研究協力者及び当館職員

定員：50人

#### ② 3月末に報告書を発行予定。

### (4) 古文書等資料調査

古文書未整理資料の整理、目録のデータベース化。

美術資料の写真撮影、整理、調査カードの作成、データベース化、作家及びその周辺の文献調査等。

## 7 大槻家資料保存活用事業

令和5年に重要文化財に指定された大槻家関係資料について、修復、研究、公開を計画的に実施するもの。

文化庁の補助金を受けて、重要文化財2点の修復を予定  
研究報告会1回の開催。

## 8 広報

- ・年間行事予定表の配布（年度当初）
- ・博物館だより（企画展特集）の配布
- ・市広報「博物館だより」コーナーによる情報の発信
- ・一関市博物館ホームページの随時更新による最新情報の提供
- ・一関市ホームページ「イベントカレンダー」による情報の提供
- ・新聞、FMあすも、一関テレビの活用
- ・市公式フェイスブックによる情報発信
- ・各種情報誌への掲載

## 9 その他

- ・スマートフォン等のアプリケーションを利用した展示ガイド